

トピックス

伊豆東岸定置網にソデイカ小型個体入網

伊東魚市場で定置網漁獲物の体長測定をしていた時、普段見慣れないイカが5尾ほど水揚げされており、よく見ると、小型の“ソデイカ”でした。ソデイカといえば、沖縄などで漁獲される大型のイカで、外套長は約1m、体重約20kgにもなると言われていますが、このソデイカの外套長は20cmにも満たない大きさでした。これは珍しいと思ひ、研究用サンプルとして魚屋さんを通じて購入し、研究所で外観の観察と外套長及び体重の測定を行いました。

大きく厚い鰭が胴の上端～下端に及ぶ特徴的な外観から(写真)ソデイカと考えられ、外套長は平均157.2mm、体重は平均157.2g(いずれもn=5)でした。安藤ら*は、伊豆・小笠原海域における最小個体は三宅島西方で採集した外套長17.5～24.4cm(平均20.57cm)、体重251～636g(平均416.3g)と報告していますが、今回入手した個体は、これより約5cmと小さく、最小記録と考えられました。また、安藤らが小型個体を採集した海域は、黒潮が通過する海域(三宅島～御蔵島間)周辺であったとのことであり、2021年8月6日の黒潮流路は、伊豆諸島の西側を北上

して伊豆半島の沖を東方向に通過するA型流路であったことから(図)、この小型個体は黒潮に乗って伊豆半島沿岸に來遊したと考えられました。

*安藤和人・妹尾浩太郎・加藤憲司・前川洋志・堤清樹(2002)：伊豆諸島海域におけるソデイカの発見記録と小型個体の採集。東京都水産試験場調査研究報告，213，43-45

(鈴木勇己)



写真 ソデイカの小型個体
漁獲日：2021年8月6日
漁獲場所：静岡県東伊豆町
漁法：大型定置網(北川漁場)

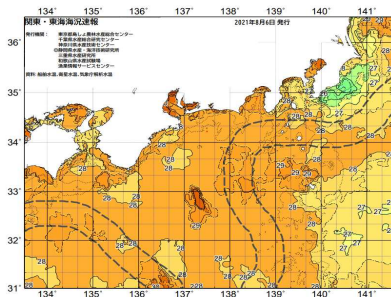


図 2021年8月6日の海況図